

正々堂々

町田市立薬師中学校
第3学年 学年日より
令和8年10月23日
第22号

第2回進路面談



本日10月23日（金）から11月2日（月）までの期間で「第2回進路面談」を実施します。いよいよ自分の将来と本格的に向き合う時期となり、「いよいよ来たか」と少し緊張している人もいるかもしれませんね。今回の面談は、先日皆さんに提出してもらった「第3回進路希望調査」の結果をもとに行います。面談の中で皆さんと一緒に考えていきたいのは、これから出される「2学期の成績」の状況に合わせた3つの具体的なシミュレーションです。

具体的には、

- ①「2学期の成績が上がったら、どこを目指すか」
 - ②「成績が今のまま変わらなかったら、どこを選ぶか」
 - ③「万が一、成績が下がってしまったら、どこを視野に入れるか」
- という3つの可能性について、今からしっかりと方針を話し合っていきます。

「まだ成績が出ないうちから、どうしてそこまで考えるのだろう」と疑問に思う人もいるかもしれませんが。実はこれにはとても重要な理由があります。それは、12月頭に行われる次回の進路面談で、私立高校の「推薦」や「併願校」をスムーズかつ確実に決定できるようにするためです。12月に入ると出願手続きが目前に迫り、時間に余裕がなくなります。その大事な時期に焦ったり迷ったりして後悔することがないよう、今のうちにあらゆる可能性を想定し、自分自身の「軸」と「選択肢」を整えておくための前向きな準備期間なのです。

成績が下がった時のことまで考えるのは、少し気が重いと感じるかもしれません。しかし、どんな状況になっても自分を支えてくれる「次の選択肢」を準備しておくことは、決して後ろ向きなことではありません。むしろ「ここがあるから大丈夫」という安心感こそが、これから始まる受験勉強で力を発揮するための大きな心の「お守り」になります。進路を選ぶ主役は、他の誰でもない皆さん自身です。ぜひこの面談を迎える前に、ご家庭で保護者の方とじっくり話し合い、自分の希望や不安を整理しておいてください。そして面談では、皆さんの「こうしたい」という素直な気持ちを先生たちに聴かせてください。一番納得のいく道と一緒に探していきましょう。

音楽祭 作文紹介



火曜日の音楽祭、本当にお疲れ様でした。中学校最後の音楽祭にける皆さんの想いは、歌声だけでなく、表情や立ち振る舞いすべてから伝わってきました。自分たちのクラスの合唱はもちろんのこと、他のクラスの発表を真剣な眼差しで聴き、温かい拍手を送る姿にも、3年生としての大きな成長を感じました。これまで重ねてきた練習の日々は、決して楽なことばかりではなかったはずです。それでも仲間と話し合い、互いに励まし合いながら一つの歌を作り上げたこと。そのプロセスこそが、何よりも大きな宝物です。

「宝物」

3年1組 A

今年の音楽祭練習期間はとても短く、限られた時間の中でどう合唱のクオリティをあげていくのかというのに最初はすごく苦戦していました。ですが練習期間が始まっていくと皆から「ここはこうした方がいいんじゃない？」とか「切り替えて」など声掛けが聞こえてきました。その時僕は皆も限られた時間の中で一生懸命やってくれようとしてるんだと感じ、実行委員としてしっかり皆を引っ張り、最優秀賞を絶対にとろうと強く思いました。そこからの練習は上手いかないときもあったけど確実に1つ1つ吸収して、日に日にみんなの心が1つになっていくのを感じました。

音楽祭前日、実行委員2人でクラスの皆一人一人にメッセージを書きました。改めて言葉にして振り返るとみんなこの練習期間本当に頑張ってくれたなと思いました。この2週間は実行委員だけでは成り立たなかった皆の協力あってのものだなとすごく感じました。そんな感謝と「勝ち負けにこだわらず楽しんでほしい」という想いが伝わってくれたらなあと思いながら作りました。

当日は朝から凄く緊張していました。1、2年の部が終わり、皆で昼食を食べているときに作ったお守りも渡しました。皆喜んでくれて本当に嬉しかったです。そこから練習を始めました。次に歌う時は本番という緊張もありつつ、最後の練習は皆本気で真剣でした。ついに本番です。舞台に立ったときはなぜかあまり緊張しませんでした。「虹」は練習期間の最初の表現のない合唱からは想像出来ないほど工夫を凝らした今まで史上一番上手い合唱でした。ソロパートの瞬間はすごくうるっときました。

結果発表のとき、舞台裏でもものすごく緊張してました。虹のイントロが流れると同時に座席からの歓声が聞こえてました。そのときは本当に嬉しかったです。この2週間自分は「実行委員としてクラスに貢献出来てるのかな」とか「あまり的確なアドバイスも出来ない」とクラスを引っ張っていく立場として不安や悩みがありました。ですが表彰のとき、皆が座席から名前を叫んでくれたときここまで自分はクラスのために実行委員として頑張ってくれたんだと思わせてくれました。本当に3-1の皆には感謝しかありません。中学校最後の音楽祭にして、掴み取った初めての最優秀賞、この学年、クラスで創り上げた合唱、仲間、音楽祭当日を含め練習期間、どの場面を切り取っても全てが僕にとって本当にとっても大切な宝物です。